

# 2022年度事業報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティルネッサンス研究所

## 事業の概略

2022年度は新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言は一度も出なかったが、患者数の増大にともなう配慮を行いながら事業を行ってきた。このように、2022年度の実施事業の総括を行う段階になって、国連と世界保健機関(WHO)が2021年から2030年までを『ヘルシーエイジング(健康長寿)の10年』とすることを決議していた、という新聞記事を目にする機会を得た。その目的やめざすものを調べてみると、高齢者の生活のサステナビリティを目指してきた我々の活動に重なる点があった。

すなわち、『ヘルシーエイジング(健康長寿)の10年』採択の目的は、外務省によれば「世界的に人口高齢化が加速する中、人々と家族、そして地域社会が健康的に年を重ねるために、10年かけて、政府、市民社会、国際機関、専門家、アカデミア、報道機関、民間セクター等の協調行動を促進するため」であるという。そして、その行動は次の4つのアクションエリアがあるという。

- ① 年齢や高齢化に対する考え方、感じ方、行動を変える事業の概略
- ② コミュニティが高齢者の能力を育成することを保証する
- ③ 高齢者に対応した、人を中心とした統合ケアとプライマリーヘルスサービスを提供する
- ④ 要介護の高齢者に介護サービスを提供する

国連で採択された『ヘルシーエイジング(健康長寿)の10年』の概略は上記のようなものであったが、考えてみれば「NPO 法人コミュニティルネッサンス研究所」が14年間取り組んできた内容でもあったといえる。すなわち、①地域資源の活用、②高齢者に関する情報の収集と発信、③地域活動の研究、④地域活動等の企画、⑤安全・安心なまちづくり、の領域を設けた事業を行い、そのなかで高齢者のできるを考える、高齢者も働いて稼ぐという活動、楽しく集える場所の確保などを目指してきた。これらの活動は、福山市内で細々と企画・実施してきたものであるが、「ヘルシーエイジングの10年」と共通点の多い事業を行ってきたことも明らかになった。

したがって、たまたま目にする事が出来た新聞記事により、2023年度以降の事業活動においては、「ヘルシーエイジングの10年」の視点との関連を明確にいくことが大切である、という示唆も得られた。